

3.10.2 研究推進部門 知財推進グループ

グループリーダー 大竹竜人 ほか11名

高価値・高独創性を有するNICT発技術の知的財産権化とその技術移転を実現

概要

NICTの研究成果の特許権化を図るとともに、その管理及び技術移転を行うため、以下の業務を行う。

- (1) 専門家の目利きによる発明の発掘、特許相談室の開設により、研究者の研究成果の特許化を支援
- (2) 弁理士等専門家を活用し、効率的な特許出願・管理を実施
- (3) 専門家・TLO（技術移転機関）の活用や展示会、Webサイト等による特許情報の公開を通じて、技術移転活動を展開
- (4) 役職員を対象とした特許講演会・研修を実施

平成19年度の成果

- (1) Webサイトでの技術移転情報の提供 (<http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/index.html>)
NICTの研究成果を広く周知するとともに、技術移転を促進するため、未公開特許情報・最新特許情報、実用化例の提案など付加価値を高めた技術移転特許情報の提供を行っている。
- (2) NICTの研究成果の知的財産権化と社会還元のための技術移転活動
国内外に対し、290件の特許出願を行うとともに、22件の有償技術移転を行った。その結果、NICTの研究成果が以下のような商品となり、社会に提供されている。
- (3) 無線局管理、図書管理等
研究開発で使用する無線局の開設手続き等に係る調整、内外の衛星打上げ情報に係る内外関係者との連絡を行っている。また、NICTの図書管理を一元的に行っている。なお、平成20年度の新図書システム導入に向けた取組みを行った。

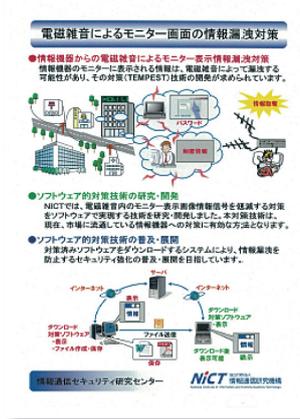
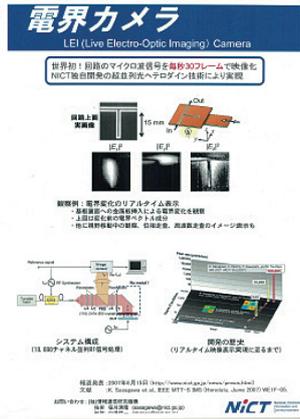
<Webサイトでの情報提供例>



未公開特許情報(http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_patent_unpublished.html)



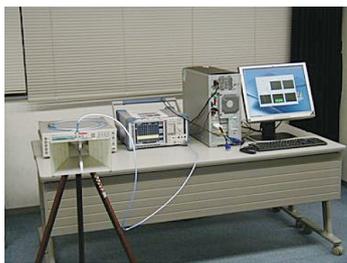
最新特許情報(http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_patent_new.html)



技術移転特許情報(http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_patent_use.html)

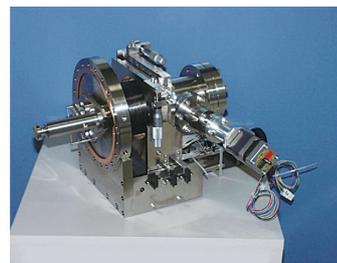
<研究成果の商品・実用化例>

多チャンネルリアルタイムAPD分析器
(APD: Amplitude Probability Distribution)



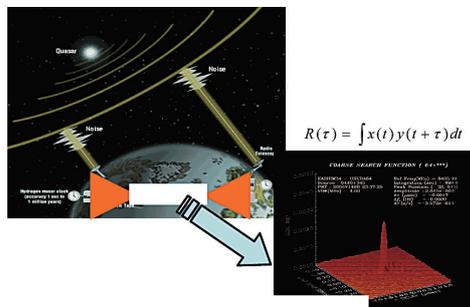
同時に複数の周波数で妨害波のAPD (振幅確率分布)を測定し、測定結果を分かりやすく表示する。これにより、従来の方法より正確に通信品質を推定することができる。アンリツ電子株式会社から販売中

真空容器内用位置制御ステージ装置



真空状態においてナノ素材に対しあらゆる角度からの光を観測できるよう、特殊な機構を持つミラーを開発した。これにより小さな真空容器でも観測が可能になった。有限会社イーオーオールから販売中

IP-VLBI用ソフトウェア相関処理プログラムパッケージ



遠く離れた地球上の2点で電波星を受信して、その信号の相対的な遅延時間を測定するための相関器をソフトウェア化した。またデータは、従来航空機での輸送からIPを使った伝送になり、リアルタイム処理が可能になった。衛星運用会社導入済

マイクロミラーアレイ



全く新しい微細構造による「鏡」である。この鏡は実物の反対側に「空中像」を結像するこれまでに無かった素子で、内側を反射面とする約100μ四方の微細な穴群(マイクロミラー・アレイ)から成っている。日本電計株式会社から販売中